

**食品に関するリスクコミュニケーション（東京）  
魚介類等に含まれるメチル水銀に係る食品影響評価に関する意見交換会  
アンケート集計結果**

開催日：2005年7月19日（火）

参加者数：128名 回答数：89名

回答率：69.5%

**問1. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。****年齢**

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	0	0.0%
2. 20歳代	6	6.7%
3. 30歳代	17	19.1%
4. 40歳代	23	25.8%
5. 50歳代	27	30.3%
6. 60歳代	12	13.5%
7. 70歳以上	4	4.5%
無回答	0	0.0%
	89	100.0%

**職業**

回答内容	件数	割合
1. 消費者団体	10	11.2%
2. 主婦、学生、無職	7	7.9%
3. 生産者	6	6.7%
4. 食品関連事業者・団体	26	29.2%
5. マスコミ	3	3.4%
6. 行政	19	21.3%
7. 食品関連研究・教育機関	8	9.0%
8. その他	10	11.2%
環境コンサル（1）分析機関（1）		
食品技術コンサルタント（1）		
公益法人（漁業団体）職員（1）		
生産者指導団体（1）NPO（1）		
広報（1）ISO審査機関（1）		
生産者団体（1）食品包装資材製造（1）		
無回答	0	0.0%
	89	100.0%

**本日の意見交換会開催をどこでお知りになったか**

回答内容	件数	割合
1. 食品安全委員会のホームページ	42	47.2%
2. 食品安全委員会からのご案内資料	16	18.0%
3. 関係団体からのご案内資料	17	19.1%
4. 知人からの紹介	7	7.9%
5. 新聞、ポスター、チラシ	0	0.0%
6. その他	6	6.7%
登壇者の随行（1）		
食のエキスポレス（1）		
農水省メールマガジン（2）		
会社より（2）		
無回答	1	1.1%
	89	100.0%

**本日の意見交換会に参加された動機**

回答内容	件数	割合
1. 魚介類等に含まれるメチル水銀に関する情報を収集するため	29	32.6%
2. 魚介類等に含まれるメチル水銀に係る食品健康影響評価の詳細を知りたかったから	32	36.0%
3. 政府や専門家に直接意見を言いたかったから	2	2.2%
4. 業務の一環として参加する必要があったため	14	15.7%
5. 政府の行うリスクコミュニケーションの取組みについて知るため	9	10.1%
6. その他	3	3.4%
リスクコミュニケーションの研究のため、観察者の立場となって参加。（1）		
食の安全と健康をつなぐ食生活のあり方を広げるため。（1）		
消費者の方々の意見、理解を知るため。（1）		
無回答	0	0.0%
	89	100.0%

「100%安全な食品はないこと」について、あなたはどのように思われますか。

回答内容	件数	割合
1. 強くそう思う	52	58.4%
2. ややそう思う	28	31.5%
3. あまりそう思わない	6	6.7%
4. 全くそう思わない	1	1.1%
5. わからない	1	1.1%
無回答	1	1.1%
	89	100.0%

問2. 本日の意見交換会の実施方法についてお聞きします。

意見交換会の開催時期（意見募集期間中に意見交換会を開催することについて）

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	6	6.7%
2. 適切だった	74	83.1%
3. あまり適切ではない	4	4.5%
4. 全く適切ではない	1	1.1%
無回答	4	4.5%
	89	100.0%

開催方法（参加手続き・場所・所要時間）

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	4	4.5%
2. 適切だった	67	75.3%
3. あまり適切ではない	12	13.5%
4. 全く適切ではない	0	0.0%
無回答	6	6.7%
	89	100.0%

配布資料

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	6	6.7%
2. わかりやすかった	60	67.4%
3. わかりにくかった	19	21.3%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	4	4.5%
	89	100.0%

専門家による講演

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	14	15.7%
2. わかりやすかった	52	58.4%
3. わかりにくかった	19	21.3%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	4	4.5%
	89	100.0%

パネルディスカッションの進め方

回答内容	件数	割合
1. とても適切だった	7	7.9%
2. 適切だった	61	68.5%
3. あまり適切ではない	9	10.1%
4. 全く適切ではない	1	1.1%
無回答	11	12.4%
	89	100.0%

**意見交換時の応答**

回答内容	件数	割合
1. とてもわかりやすかった	8	9.0%
2. わかりやすかった	53	59.6%
3. わかりにくかった	17	19.1%
4. 全くわからなかった	0	0.0%
無回答	11	12.4%
	89	100.0%

**意見交換会全体**

回答内容	件数	割合
1. 評価する	16	18.0%
2. おおむね評価する	57	64.0%
3. あまり評価しない	7	7.9%
4. 全く評価しない	0	0.0%
無回答	9	10.1%
	89	100.0%

**問3. 食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んでください。**

回答内容	件数	割合
1. 委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと（原則公開されていること）	60	23.5%
2. 食品安全委員会ホームページ	74	29.0%
3. 食の安全ダイヤル	30	11.8%
4. 季刊誌『食品安全』	35	13.7%
5. 食品の安全性に関する政府広報	25	9.8%
6. その他	2	0.8%
食品の安全性に関する用語集(1)		
リスクコミュニケーション「BSE」(1)		
無回答	29	11.4%
	255	100.0%

問4-1 食品安全委員会の行う意見交換会で取り上げてほしいテーマはありますか。

当てはまるものを3つまで下記の回答欄に番号でお答えください。

問4-2 また、その理由は。(理由については複数回答)

	項目	割合		理由					無回答等
		件数				その他具体的理由			
1	残留農薬	12.9%	7	9	9	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食品の安全性に対する基準</li> <li>・残留農薬に対する取組を知りたい</li> <li>・ポジティブリスト制に移行で、18年5月にスタートするため</li> <li>・専門家のオープンの研究を政府と同時並行的に行う</li> </ul>	3	
		29							
2	食品添加物	11.2%	9	7	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工品の品質に影響を及ぼすから</li> </ul>	3	
		25							
3	食品中に混入する汚染物質	14.7%	7	15	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工品の品質に影響を及ぼすから</li> <li>・合成洗剤など食品ではないものによる汚染をトータルに学びたい</li> </ul>	2	
		33							
4	遺伝子組換え食品	11.2%	7	7	7	0	-	4	
		25							
5	動物用抗菌性物質（いわゆる抗生物質）	9.8%	9	7	7	0	-	1	
		22							
6	BSE	7.1%	2	4	7	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を述べたい</li> </ul>	3	
		16							
7	有害微生物・ウイルス	8.0%	3	8	4	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水産加工品の品質に影響を及ぼすから</li> <li>・O157、カンピロバクター、ウイルスによる食中毒の予防のための生食用食肉の法的規制を行って欲しい</li> </ul>	4	
		18							
8	新開発食品	7.6%	6	3	6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・とくにいわゆる健康食品の安全評価</li> </ul>	2	
		17							
9	リスクコミュニケーション	10.7%	2	8	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リスクコミュニケーションの先にあるもの、めざすもの</li> <li>・改善の余地が多いと考えます。</li> </ul>	3	
		24							
10	その他	2.7%	0	2	2	1	-	1	
		6							
10	・農薬、動物薬のポジティブリスト制について	1	0	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施行されたとき、どのように対応してよいか、よくわからない</li> </ul>	0	
	・食品中生産過程で生じる物質（例アクリルアミド、トランス脂肪酸等）	1	0	1	0	0	-	0	
	・将来でてくる課題に迅速に対応してくれればそれでよいです。	1	0	0	0	0	-	1	
	・カドミウム	1	0	0	1	0	-	0	
	・いわゆる健康食品	1	0	1	0	0	-	0	
	・国民の健康保護を最優先に考えた食品の安全確保について	1	0	0	1	0	-	0	
11	無回答	4.0%	-					27	
		9							
合計		224	52	72	71	15	-	27	

理由の について

- 食品を選ぶ際の判断基準にしたい
- 専門家の意見を聞いて理解を深めたい
- 現在の活動に生かしたい

## 問5. ご意見・ご感想

1	資料が専門家むけだなあと感じました。説明のなかで示されたグラフなど、分かりやすかったと思いますが、配布のなかにはなく残念。
2	コミュニケーションの難しさを思い知りました。
3	何もわからない消費者はわからせる手段を考えなければいけないと思います。
4	17.7.20朝日朝刊のBSEに関する全面広告に対する食品安全委員会の見解を聞かせていただきたい(HP上でかまいません)。
5	委員の説明パネルの下の方がみえなかった。メモするだけで聞きとりが大変なので、資料は必ず配布してほしい。
6	最近サプリメントの消費がおおきくのびて来ているが、1つの例であるがVEは抗酸化剤etcで使用されて添加されているが、最近一定量を越すと逆に健康面で問題ありと云われている。他国の規制も含めて食の安全面でご検討願いたい。
7	評価機関と管理機関のリスクコミュニケーションの区分があいまいであったと感じた。ディスカッションでの話題の中には、管理機関で行うべきものも多く含まれていたように思う。
8	「食品に関するリスクコミュニケーション」のタイトルは誤解多いように思います。参加者はもっと現実的な点からの意見が強く、これは厚生労働省がこの評価を使って適用(運用)する際の意見が多かったように思います。このため、食品安全委員会と厚労省を通したリスクコミュニケーション(意見交換会)とすべきだと思いました。ちなみに今後、厚労省への答申後のこの種の意見交換会は開催されるのでしょうか?どこかで公表して下さい。
9	資料の用語集はとてもよいです。メディアの人は、どうしてパネルに参加していないのですか?パネルディスカッションとリスクは別のものだと思うのですが...。パネルディスカッションはよかったです。リスクのテーマがじつはよく分かりませんでした。「何を」コミュニケーションするのか...。リスクのルール(マネジメントは今回話題にしないとか)の提示もないので、日本人には難しいと思います。リスクマネジメントの話は、やはり先生方へ回答を求めるのは気の毒です。消費者の頭を整理してもらうためにもはっきりとしていくべきです。
10	1. 日々の暮らしの中で何をどれくらい食べていけばいいのか。具体的な数値が話されないので意見の述べようがない。2. 日本人はトロ好きである。カツオ、マグロ、サバ、アジ、サケ何でも脂の乗ったものが好きで、しかも養殖、蓄養でアブラの乗ったものを日常的に食べているが、それらの水銀含有量は自然魚と比べどうであるうか。3. 健康食品の問題も影響は大きいと思われる。
11	有意義でした。しかし、時間延長出来る場所にすべき。
12	2. $0\mu\text{g}/\text{kg}$ / 週の量を摂取するには $0.3\text{ppm}$ 含まれた魚を1週間に $400\text{g}$ 以上食べなければリスクにはならない、との答えが先生からありました。 $0.3\text{ppm}$ の含まれた魚はいないような話しぶりでしたが、2年前の妊婦は金目鯛を含む大型魚を沢山食べないよとの報道におどろいた事が嘘になるのでしょうか。魚のメチル水銀含有量をぜひ公開して下さい。
13	開始時間が途中半端なので午後1:00~or2:00(せめて)等の開始にしてもらわないと帰りが大変遅くなります。もう少し具体的な魚種やUOC(摂取)等のデータの披露がないのが残念でした。
14	自らの利益のみしか追わない生協や消費者団体は不要である。彼らは何を求めているのか理解できない。ゼロリスクはほとんどない事を理解してから参加させるべき。
15	先生のご説明は大変親切でわかり易く、科学的知識の低い私にも興味深く拝聴出来ました。氏の食品安全委員会外の専門家の意見の聴取も必要かとの意見に参同します。その上で一般の消費者等とのリスクコミュニケーションとなれば、尚、一般人には判断しやすいたと思います。開会前の会場案内について「いらっしゃいませ、こちらの方が席が空いてございます」等の案内のされ方は、あまりにも丁寧過ぎて違和感がありました。もっと簡単に良いのではないのでしょうか...(どうでも良い事です)。氏の対日本人で調査研究した数値も今後必要か...と
16	問2: 何故BMDLを用いるのか。理由がよくわからなかった。問2: ファシリテータが食品安全委員であるのはフェアでない(進め方はフェアではあったが)。市民・消費者側メンバーのパネリストを増やすべき。
17	・時間がないから質問はムリとはいわないでほしい。 ・席を、消費者、業界、行政など列にわけてすわり、質問がかたよらないようにしてほしい。
18	開催時期を早め、会場、時間ももっと確保してほしい。このような会だと今後つづけても意味はないと思う。
19	特に生協関係の人々の質問が類似している。その辺の仕切りをうまくやって頂ければ、もっとスムーズになると思います。
20	消費者が食品の安全性に関して、安心へ移行出来ない部分が多くあり、食に対する理解が不十分であると考えます。
21	ゼロ・リスクを希求するのではなく、リスクを前提として、そのリスクと上手に付き合っていく方法を提案・提供する場であることを期待したい。
22	とてもわかりやすく、参考になりました。もっと時間に余裕があればもっと良かったと思いました。本日はどうもありがとうございます。
23	リスク管理への質問も多く出たので、リスクコミュニケーションはあらゆる立場の方々の参加も必要ではないか(台場にイれるべき)。
24	PRの方法をもう少し考えてほしい(このコミュニケーションの機会を知るべき方法)(逆に安全性をもっと訴えてほしい)。
25	安全委員会は数値の設定でよいが、問題はその公表の仕方だと思います。ある特定のものが風評被害を受けないような、正しい水銀の摂取量の目安を検討して下さい。
26	大変わかり易い意見交換だったと思います。疫学調査は人であることの良さはあるが機序まではわからない。セレンなどの無毒化作用についても評価の余地があるのではないのでしょうか?
27	・専門的分野についての評価をわかり易く解説することは困難であるが、もう少し平易に説明してほしい。 ・日本人に対するリスク評価をするのに、2つの海外でのデータのみで算出されたのは問題。
28	今、何故メチル水銀なのか。日本のデータ値からではなく、データ値の少ない中での外国の数値データである。やはり、食文化、習慣、人類個体差、複合、リスク問題では、一般成人、高齢者、胎児、脳性疾患のある人等のリスクはどうか。
29	意見交換会のときに用いた図の単位がそれぞれ異なっているのはどうか?
30	講演はわかりにくくはなかったが、専門家向であった気がする。大学の講義でないのだから、もう少し一般大衆に理解できるレベルにしてほしい。具体的な食の量を提示しないのはマイナス。リスクコミュニケーションとマネジメントは違うと言われてもわかりにくいのではないか。
31	意見交換の際に出ましたが、やはり数字だけでは現実が見えてこないと思われ、何らかモデル(特定の魚)を出しての説明が絶対必要と思われ。
32	講義の中で専門用語が多く、資料にも多い。最初の用語に説明書きがあると、後に見直す時に有効と考える。
33	・食品安全委員会の法律の改正の為あっている様に拝見された。 ・今回の前に厚生労働省がリスクコミュニケーションを行うべきと思う。

**食品に関するリスクコミュニケーション（大阪）**  
**魚介類等に含まれるメチル水銀に係る食品影響評価に関する意見交換会**  
**アンケート集計結果**

開催日：2005年7月14日（木）

参加者数：84名 回答数：67名

回答率：79.8%

**問1. あなたご自身のことや食品の安全性に関するお考えについてお聞きします。**

**年齢**

回答内容	件数	割合
1. 20歳未満	1	1.5%
2. 20歳代	7	10.4%
3. 30歳代	9	13.4%
4. 40歳代	19	28.4%
5. 50歳代	20	29.9%
6. 60歳代	8	11.9%
7. 70歳以上	2	3.0%
無回答	1	1.5%
	67	100.0%

**職業**

回答内容	件数	割合
1. 消費者団体	13	19.4%
2. 主婦、学生、無職	4	6.0%
3. 生産者	0	0.0%
4. 食品関連事業者・団体	12	17.9%
5. マスコミ	0	0.0%
6. 行政	29	43.3%
7. 食品関連研究・教育機関	8	11.9%
8. その他	1	1.5%
分析機関(1)		
無回答	0	0.0%
	67	100.0%

**本日の意見交換会開催をどこでお知りになったか**

回答内容	件数	割合
1. 食品安全委員会のホームページ	17	25.4%
2. 食品安全委員会からのご案内資料	15	22.4%
3. 関係団体からのご案内資料	21	31.3%
4. 知人からの紹介	2	3.0%
5. 新聞、ポスター、チラシ	2	3.0%
6. その他	9	13.4%
近畿農政局からの紹介(3)		
大阪府教育委員会(1)		
所内案内(1)		
会社より(1)		
無記入(3)		
無回答	1	1.5%
	67	100.0%

**本日の意見交換会に参加された動機**

回答内容	件数	割合
1. 魚介類等に含まれるメチル水銀に関する情報を収集するため	15	22.4%
2. 魚介類等に含まれるメチル水銀に係る食品健康影響評価の詳細を知りたかったから	32	47.8%
3. 政府や専門家に直接意見を言いたかったから	1	1.5%
4. 業務の一環として参加する必要があるため	12	17.9%
5. 政府の行うリスクコミュニケーションの取組みについて知るため	7	10.4%
6. その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
	67	100.0%

「100%安全な食品はないこと」について、あなたはどのように思われますか。

回答内容	件数	割合
1.強くそう思う	39	58.2%
2.ややそう思う	25	37.3%
3.あまりそう思わない	2	3.0%
4.全くそう思わない	0	0.0%
5.わからない	0	0.0%
無回答	1	1.5%
	67	100.0%

問2. 本日の意見交換会の実施方法についてお聞きします。

意見交換会の開催時期（意見募集期間中に意見交換会を開催することについて）

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	6	9.0%
2.適切だった	46	68.7%
3.あまり適切ではない	8	11.9%
4.全く適切ではない	0	0.0%
無回答	7	10.4%
	67	100.0%

開催方法（参加手続き・場所・所要時間）

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	4	6.0%
2.適切だった	54	80.6%
3.あまり適切ではない	8	11.9%
4.全く適切ではない	0	0.0%
無回答	1	1.5%
	67	100.0%

配布資料

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	6	9.0%
2.わかりやすかった	40	59.7%
3.わかりにくかった	18	26.9%
4.全くわからなかった	0	0.0%
無回答	3	4.5%
	67	100.0%

専門家による講演

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	10	14.9%
2.わかりやすかった	32	47.8%
3.わかりにくかった	20	29.9%
4.全くわからなかった	3	4.5%
無回答	2	3.0%
	67	100.0%

パネルディスカッションの進め方

回答内容	件数	割合
1.とても適切だった	8	11.9%
2.適切だった	44	65.7%
3.あまり適切ではない	8	11.9%
4.全く適切ではない	0	0.0%
無回答	7	10.4%
	67	100.0%

### 意見交換時の応答

回答内容	件数	割合
1.とてもわかりやすかった	5	7.5%
2.わかりやすかった	45	67.2%
3.わかりにくかった	8	11.9%
4.全くわからなかった	1	1.5%
無回答	8	11.9%
	67	100.0%

### 意見交換会全体

回答内容	件数	割合
1.評価する	15	22.4%
2.おおむね評価する	42	62.7%
3.あまり評価しない	3	4.5%
4.全く評価しない	0	0.0%
無回答	7	10.4%
	67	100.0%

問3. 食品安全委員会の取組みのうち、ご存知のものあるいは利用したことのあるものを全て選んでください。

回答内容	件数	割合
1.委員会、専門調査会の傍聴が可能なこと（原則公開されていること）	38	19.5%
2.食品安全委員会ホームページ	47	24.1%
3.食の安全ダイヤル	25	12.8%
4.季刊誌『食品安全』	31	15.9%
5.食品の安全性に関する政府広報	32	16.4%
6.その他	3	1.5%
食品安全モニターからの報告(1)		
農水メルマガほか(1)		
家畜の勉強をする(1)		
無回答	19	9.7%
	195	100.0%



問4-1 食品安全委員会の行う意見交換会で取り上げてほしいテーマはありますか。

当てはまるものを3つまで下記の回答欄に番号でお答えください。

問4-2 また、その理由は。(理由については複数回答)

	項目	割合	理由					
		件数				その他具体的理由	無回答等	
1	残留農薬	9.4%	5	7	7	0	-	2
		16						
2	食品添加物	11.2%	5	8	5	0	-	3
		19						
3	食品中に混入する汚染物質	8.8%	5	8	3	0	-	1
		15						
4	遺伝子組換え食品	17.1%	6	15	9	1	・不確実な部分が大	3
		29						
5	動物用抗菌性物質(いわゆる抗生物質)	12.9%	5	12	7	0	-	1
		22						
6	BSE	7.1%	2	6	4	0	-	1
		12						
7	有害微生物・ウイルス	13.5%	5	12	3	2	・一番身近なリスクだから ・新しいウイルス感染症が増加しており、食品に影響をあたえている	3
		23						
8	新開発食品	8.8%	2	8	2	2	・新たなリスクはないのか ・不確実な部分が大	2
		15						
9	リスクコミュニケーション	4.1%	0	2	1	1	・今後大切	2
		7						
10	その他	2.4%	0	0	2	1		1
		4						
10	・アクリルアミド?間違っていたらすみません。食品を高温で揚げた際に発生する物質のことです	(1)	0	0	0	0	-	1
	・クローン(体細胞、受精卵)牛について	(1)	0	0	1	0	-	0
	・アレルギー物質、加工食品中のコンタミネーション	(1)	0	0	1	0	-	0
	・食卓で正しい食べ方や選び方 酵母(おみそ)の取り方	(1)	0	0	0	1	・日本人の正しい栄養の取り方	0
11	無回答	4.7%						
		8						
合計		170	35	78	45	8	-	20

理由の について

- 食品を選ぶ際の判断基準にしたい
- 専門家の意見を聞いて理解を深めたい
- 現在の活動に生かしたい

## 問5. ご意見・ご感想

1	パネリストの前のパソコンをもう少し横に置いてほしかった。
2	体に害がある事が全面にだされている様に思うので、別の角度から見て食べても安全・安心だという事を取り上げてほしいです。
3	メチル水銀に関しては、厚労省に適切な管理を行ってほしい。
4	会場あるいはパネルからいただいた質問やコメントに適切な回答をつけて発表すると良い。あとでコメントとしてコメント収集に対して応答したく思う。
5	先生のコーディネートはすばらしかった。 先生の話は一般の方には難しすぎる。何のためのリスクコミュニケーションか、という点を再検討する必要がある。
6	リスクばかりが先行すると不安が増大する。海に囲まれた日本の資源である“魚”…。魚を除去するリスクの方が大きいのではと話されたコーディネーターのお話しが納得因子。知識はたくさん持っているデータも読みやすくなるので、難しかったが学べた。
7	今後いろいろな項目（問題）について各地でリスクコミュニケーションの場を提供してほしい。できれば、各コミュニケーションにおけるレジメをHP等で公表してほしい（仕事への参考にしたいので）。
8	このようなリスクコミュニケーションは、広く国民に知らせるという意味で新聞広告するか、出来なければ、プレスリリースし、マスコミに取り上げてもらい、記事になればもっと多くの人に知ってもらえると思います（特に開催地方誌にプレスすれば、大きく取り上げてもらえるはず）。
9	本日はどうもありがとうございました。 先生のご講演は大変わかりやすく、とても参考になりました。パネルディスカッションの進行がとても素晴らしく、適切であったと思います。フロアからの意見がとても参考になりました。
10	「メチル水銀摂取量と健康影響（対数軸）」のグラフが理解の上で大変重要である。資料として配布してほしい。一般人は、数値で言われてもどの程度のレベルかはわかりにくい。だから、不安がってしまうのです。魚にメチル水銀がどの程度含まれているのか？ 少ないなら少ないでデータを示してくれば安心します。
11	こういうものに初めて参加させていただいたが、パワーポイントの資料のグラフが分かりやすかったのに、資料に入っていなかったのが残念。文書よりビジュアルの方が分かりやすいと思う。魚の印象はかなり悪くなってしまった。周知の方法に期待します。
12	基調講演となるものはもう少しわかりやすく説明してほしい。略語の使用も控えてほしい。専門知識が必要であれば、事前に参加者に対して資料等を配布して、事前学習の上講演内容についていける様な手法を検討いただきたい。折角のリスコミの機会、いい話であっても理解できなければ開催されても意味がないのではないかな。
13	農薬のポジティブリスト制は関心が高くなると思います（農薬はぜひ大阪でも行ってほしいです）。今後もわかりやすい会合にしていただければと思います。ありがとうございました。
14	全体に時間が少ない。
15	メチル水銀を摂取した胎児の健康への影響についての状態が聞きたい。「手がふるえるとか、歩けない」とか言った「どうなるのか」と言った報告を聞きたい。
16	「魚を食べることが危険」という風評が広がらないことを希望します。
17	消費者、生産現場の意見に対して適切に回答や考え方を示されて、とてもいい時間となりました。事前にレポートをホームページで読んでいたので内容が理解できたが、当日に読んだり報告をきいた方には、難しかったのではないかと思います。
18	魚介類の食べ方も必要であるが、日本近海では今少なくなっている。年内輸入量が多くなり自給率が53%に下がっている。海外からくる魚介類の含有量を調べるべきでないか。食品のトレーサビリティを具体的に開示してほしい。
19	・パネラーの前のディスプレイパネルは障害です。 ・意見交換というより説明会ですね。
20	今回議論している水銀濃度について、パネルディスカッションの導入の前に説明があったが、非常に重要な点にもかかわらず資料がない。
21	今後引き続き本活動が活発に行われる事を期待いたします。
22	パネラーの人は焦点を絞った発言をして下さい。1.5時間は出席者皆の時間だという認識を共有化したいものです。
23	基本にもどり自分の味覚、嗅覚の感覚で良し悪しを判断できる能力を養う事も大切だと思う（表示にたよりすぎ）。人間本来の感覚が無くなる。
24	農産物にはほとんど農薬が使用されています。どの程度残留するものか。又遺伝子組み換え食品の安全性をたずねたいです。
25	・第一部の司会進行の男性の声がこもりたいへん聞きづらかった。女性の方が良いと思う。 ・パネルディスカッションの コーデは進行が大変うまく、わかりやすい。よかったです。
26	・安全係数を4にした理由は、やはり疑問が残る。現実対応と、科学的評価基準づくりは分けるべきではないか。 ・かつては「胎児には影響しない」が医学的常識だったことを考えると、幼児（乳児）を対象外としたことは根拠が薄いのではないかな。
27	資料3のP9、上の表の数値が読めません。
28	むずかしい内容でわかりにくい事が多すぎた（講演）。過去の事件から重要データがあるだろうから、日本人の食生活にもとついたりリスク評価基準について知れたかった（妊婦、胎児のみではなく）。
29	たしかに、魚種ごと水域でメチル水銀の量が分かれば良いですが、今回はメチル水銀の評価が主旨となっているということで、ピンとこない面もありました。もっと具体的な事が分かってから、再度このような会を開催してほしいです。
30	資料や話が高度で、専門的な用語ばかりで、全く何も知識のない私には、非常にわかりにくい内容ばかりでした。
31	・専門的用語が多く理解しづらかった。 ・具体的な魚介類等に含まれるメチル水銀数値又、摂取量別の人体の影響を示してほしい。